

NEWS Release

報道関係者各位

JAみえなか 郷土資料館 ～一志町から届けるシルクロード～ 蚕の飼育展示が始まります

JAみえなか（代表理事組合長：前田孝幸）では、6月1日（木）から津市一志町にある当JA郷土資料館で蚕の飼育展示を開始します。同資料館では、一志町でかつて盛んだった養蚕業の歴史を現代に伝えるため、「蚕糸研究会」と「一志町歴史語り部の会」が中心となり、毎年蚕の飼育展示を行っています。今年度は5月21日に掃立て（卵から羽化した蚕の移し替え作業）を行い、飼育を始めました。

蚕の飼育展示は全国的に見ても非常に珍しく、毎年たくさんの方が見学に訪れています。また、6月17日（土）には「名松線ウォーク」の一環で、一般の方が飼育体験に訪れる予定です。

○蚕の飼育展示について

【展示期間】令和5年6月1日（木）～6月25日（日）※土日も開館しています。

◆見ごろ◆

6月10日～15日（蚕の幼虫が大きくなり、桑の葉をムシャムシャ食べる姿が見られる）

6月20日前後（繭を作り始める姿が見られる）

※蚕の生育状況によって期間が前後する場合があります。



↑ 昨年度の飼育展示の様子

【見学・給桑時間】9:00～10:00、17:00～18:00
（時間内であれば自由にご見学いただけます）

【場所】JAみえなか 郷土資料館横体験室
（住所：津市一志町高野 1204-1）

○蚕の飼育情報

【品種】

小石丸…古来より飼育されている日本在来種。蚕の中で最も細く、しなやかな糸をはく。皇后陛下が飼育されることでも有名。

黄白…雌雄が違う色の繭を作る限性品種。オスは黄色の繭を、メスは白色の繭を作る。

春嶺×鍾月…春の気候に適した普通蚕品種（生糸生産用品種）。



【取材時のお願い】

新型コロナウイルス感染症拡大防止に向け、感染症対策へのご理解ご協力の程よろしく申し上げます。

【お問い合わせ】※写真提供も致しますのでご相談ください。

JAみえなか 企画部 企画広報課（担当：渡辺、西川）※お手数ですが取材の際には事前にご連絡ください。

TEL：0598-28-8822（事務所）、080-4177-6832（業務用携帯） FAX：0598-28-8034

Webサイト：<https://www.ja-mienaka.or.jp/>

E-mail：kikaku4@mienaka.jamie.or.jp